

# 舟屋群

京都府・伊根町



舟屋は舟を格納する建物であり、漁業に舟が使用されると同時に建てられたものと伝えられている。又、漁具や漁網の干場にも使用されていた。

古くは舟小屋に風を入れる為板壁も作らず、藁や古網を吊るした藁葺平屋建てのものであったが、江戸中期に入って半二階となり、明治中期に瓦葺のものが多くなった。更に昭和初期には大部分が二階となり、何時でも舟が出せるように若者が寝泊りし、青年同士の交流をする場となり、これを「若衆宿」と呼ばれた舟屋もあった。

現在の舟屋は往時の面影はなく、舟の格納のみにとどまらず、構造空間を巧みに利用し、一階は舟揚場、物置、作業場をもち、出漁準備、漁具の手入、魚干物の乾場、農産物の置場等多種多様に使用され、便所、浴場等も作られている。母屋は山側に建てられ、生活の拠点であるが、舟屋の二階は、二次的な生活の場としての居室となり、若人、若夫婦、又は老夫婦の部屋、客室、民宿等に活用され、一夜を過ごす旅人は、枕辺を打つ波の音にえもいわれぬ風情を味わう事ができる。(伊根町ホームページより)

漁業に従事する人にとって、舟屋は舟や漁具の格納庫として江戸時代より利用されてきており、先祖代々受け継がれた財産を保存していこうと、保存会が設置され、平成18年7月に全国漁村で初の伝統的建造物保存地区に選定されるなど、地域の町並保存に向けた意欲は高い。

## TOPICS

- ・伊根祭 7月27日～28日 開催
- ・特産品：さばへしこ、ぶりの味噌漬け、地酒等

## お問い合わせ先

伊根町観光協会

TEL / 0772-32-0277

URL / <http://www8.ocn.ne.jp/inetour/>

## 【交通】

車 / 京都から京都縦貫自動車道を経由して約2時間30分

